

2021年度 第6回 こむ1会運営委員会 議事録

日 時：2022年2月10日(木) 13:30～16:00 場 所：「ぷらごこむ1」3階フリールーム
 進 行：4班(河崎・三島*・岡田・佐々木) *は議事進行役
 出席者：敬称略 出席委員対面20名 Zoom1名 オブザーバー2名
 1班：班長三宅(こまどり), 副班長油井(広域ボランティア連絡委員会), 伊藤(ふぁみりい劇場), 会計高原(情報ボランティアネット), 荻野代理山形(ゆめふうせん)
 2班：班長関戸(第3地区民生児童委員協議会), 副班長村井(売布小学区まち協), 代表東(個人), 中小路(個人), Zoom前田(一致バラばらの会)
 3班：班長小林(シニアマジック), 副班長小島代理栗山(第3地区民生児童委員協議会), 大西(さわやか)
 4班：班長河崎(エルライン), 副班長・副代表三島(個人), 岡田(専心会), 佐々木(武庫流会)
 5班：班長田中(宝塚友の会), 副班長山本(武庫川流域圏ネット), 総務村中(個人), 角田(絵芝居研究会)
 オブザーバー：(公財)プラザ・コム 岡本代表理事, ボランティア活動センター 沼田所長

1. 報 告

1) 「受付ボランティア会議 1/22」(河崎)

主な内容は、新型コロナウイルス感染症オミクロン株への対応に関する事で、財団代表理事から議事次第に沿った説明とともに、受付ボランティアのスタッフは健康を最優先とし、陽性者や濃厚接触者が発生した場合は閉館になることがある旨の説明があったとの報告があった。

2) 「コミュニティ連絡会 2/3」(油井)

2月3日の連絡会は、3月3日木曜日への延期になったとする報告があった。

3) 会計報告(高原)

殆どの団体からの今年度の年会費徴収を終え、未徴収は4,800円となった。本日1グループから徴収予定。未納のグループへの電話でコロナ禍や体調不良のため活動ができていない等の理由により未納になっていることが判明した。また、今月の会計支出の報告は本日発生したボイスレコーダの電池立替払い220円のみである。

4) 1階活動スペースについて(佐々木)

配布資料 「1階活動スペースについて」

前回の運営会議を受けた意見書取りまとめ作業中に代表から活動スペース利用に関するガイドラインづくりを提案するメール配信があった。それに対して財団代表理事から活動スペースに係る財団の定款の明示とともに、「これらは財団が責任を持って行っている事業であり、事業の内容を変えたり、事業に制約を加える事はできない」とのメールによる回答があった。これを踏まえて、財団の代表理事と接見の上、前回運営委員会の議事録と各班から提出された意見書を「こむ1会登録団体が活動スペースを利用する際の5つのマナー(案)」として取りまとめ、代表理事に案の確認を得た上で本日の配布資料とした旨の説明があった。(具体的な内容については配布資料参照)

※ この案件に関しては、資料配布が当日配布であったことから、運営委員会としての承認はとらず、各委員が資料を確認した上で、次回運営会議の冒頭で承認の是非を問うこととした。(4班事務局判断)

5) 「オープン zoom 会議室」について(東)

問題は発生せず、とくに報告事項はない。小委員会等で活用されたが、利用が少ないのもう少し活用してもらいたい。

6) 登録グループ退会(宝塚専心会・岡田)

配布資料 「宝塚専心会解散のお知らせ」

会の高齢化でボランティアを続けることが困難になり25年間続いた会を解散し、こむ1会を退会することになった。小林会長が体調不良のため、代わって岡田委員から「ぷらごこむで二十数年間という長い間お世話になり、皆さまに感謝申し上げます。」との挨拶があった。一方、シェアキッチンについては今後も有志でお手伝いさせていただくことを決めているとの報告があった。

7) 「公益財団法人プラザ・コム」から(岡本代表理事) 配布資料「こむ1会運営委員会…財団より」
 ・申請申込みについては早期申込、3階予約申込共になし、との報告があった。

- ・全般的な報告、お願い事項は、蔓延防止重点措置は2月20日まで、感染が膨大に拡大しており、これまで以上に感染予防に努め、感染対策に気をつけ、特に飲食時に注意してもらいたい。また、受付スタッフが感染し、受付業務が不可能になった場合は閉館せざるを得なくなるため、その際にご理解いただきたい、とのことである。

8) 「ボランティアセンター」から(沼田所長)

配布資料「こむ1会運営委員会 ボランティアセンターからの報告・連絡事項」

- ・1/31 運営委員会が開催された。運営委員の選定をはじめとする議題について協議を行ったが、その他の詳細については議事録参照。また、今後については適宜報告させていただくこととする。
- ・オンラインレクリエーションを毎月15日午後Zoom配信で施設向けに実施している。現在出演者募集中。出演希望者はボラセンまで。参加は個人も歓迎。2/15は歌とタップダンスの予定。
- ・2月26日に助成金報告会の開催を予定しているが、蔓延防止重点措置が延長された場合は中止し、発表をDVD配布とネットでの配信にする場合もある。決定次第お知らせする。
- ・依頼事項についてはボランティア活動センターにおける現運営委員の任期2年が切れるため、次期運営委員の推薦をお願いしたい。なお、運営委員の業務内容については配布資料の詳細を参照されたい。

9) その他

配布資料 購入提案書兼出金伝票2部

- ・パソコン購入について予算の10万円以内で中古のノートパソコンを2台購入した。Excel、Wordが使えればいいという判断で、Webカメラ、マウス、ケーブル、その他備品等を購入し、デスクトップの修繕費も含めた。合計支出は99,948円(東)。詳細の内訳は配布資料参照

⇒前回の運営会議で事後報告とする旨、承認済みのため、意見はなく承認された。

- ・室内におけるインフルエンザなどの感染予防対策と委員間の交流目的により、インスタントコーヒ一等のお茶をこむ1会の経費で購入し、運営会議中にブレイクタイムを持つことになったが、これについて運営委員会としての承認を得たい。(東)

⇒挙手により全員一致で承認を得た。

コミュニケーションを図る目的があるが、こむ1会会計(運営のために会員から頂いた会費)から経費を出すことから節度のある使い方を望みたい。(東)

2. 議 事

1) 運営委員会の改善について … 30分間で各班から意見をまとめて発表

冒頭に代表から、4班の配布資料の内容については連絡会議では出されたが、前回の運営会議では出されなかったことから、趣旨が分からなければ班会議はできない、との指摘があった。

それに対して事務局担当の4班から、各班での意見の取りまとめに向けた参考のたたき台として作成した配布資料「運営委員会のあり方について」の説明を行った。(佐々木)

配布資料「運営委員会のあり方について」参照

- ・ やってみて不具合があれば立ち止まって即座に改善し、必要があれば立ち戻ることも必要である。誰もが関われる意義ある運営委員会にするためには、誰もが忌憚のない意見が出せる、まずは話し合いの場づくりが必要であるが、そのためにはまず、個人的な意見として運営委員会構成人員25名は多すぎる。(一般良識的には構成団体数の1/4程度が妥当である)(佐々木)
- ・ 連絡会議の際のこの議題に関する要点は、提案の意見書のような内容ではなく、班体制をうまく活用するための改善ではなかったのか。(東)

⇒当初から生活環境条件の異なる運営委員が助け合うことはできず、こむ1ネットから資料を各自取り出すに至った経緯についても各委員が理解できていないにもかかわらず、合意を求めて承認を得たとする進行に疑問がある。例えば、資料も多すぎて確認する気にもなれず理解できないとの声も多々ある。班体制を含め、班体制以前の根本の問題から議論すべきと考え意見書を作成した。(三島)

- ・ それらにはすべて理由があり先祖返りする気がする。議論するのはいいが、元に戻すなら前の問題も発生する。しかし当日の印刷も含め、すべて皆が合意形成して決定したことである。(東)

⇒班長会において4班提案の「運営委員会のあり方について」の内容について確かにこのような意見が沢山出たことは事実である。ちょっとしんどいという意見も出た。そして運営委員会で一つひとつが何も決まっていなかったことも事実である。それから先のこむ1会とは何か？運営委員会とは何か？もっとしっかり歩いていきたという話し合が出たと認識している。そこで、4班のまとめた「運営委員会のあり方」では運営委員の誰もが関われる意義ある運営委員会にするためには…と書かれているが、会長提案の「運営委員会サポーターについて」の内容から読み取れる考え方は、運営委員会は実質的にはサポーターが運営するかのように読み取れ、全く正反対であるが何故かを質問したい。(関戸)

運営委員会のあり方と運営委員会サポーターについての提案は全く違う話であるとの会長の意見から議論は平行線から紛糾し、とりあえず各班で運営委員会のあり方について意見をまとめることになった。

<各班からの意見>

□ 1班 三宅・油井

8月の総会まではこのまま続行するしかない。パソコンなどの機器についてはできる委員に協力してもらえない。次年度8月以降については提案であるが、会員を分野ごとに分けて実行委員会等を設置し、そこから運営委員会に挙げて企画運営し、決裁すればいいのではないかと。ただし、今期何もしないのではなく、次年度に向けた改善の提案をするということである。今までの手法はルールや仕組みづくりが主体であるが、そうではなく、もっと楽な形で皆が話し、困りごとや相談などが出せ合える場に、楽に提案のできる運営委員会にできればいいのではないかと。

□ 2班 東

パソコンのない委員はこむ1会の事務スペースのパソコンやプリンターを使えば解決する。班体制は欠席が減ってよかった。経験のない委員に体験として班長や役員になってもらい経験者が支える仕組みにするしかない。経験がない委員が事務局を担うには、議事録やレジュメなどのひな形があった方がいい。また、現状のような運営委員選定では運営に対する情熱を欠くことから、情熱をもって運営委員を支える「運営委員会サポーター」を設置した方がいいことに至った。

□ 3班 大西

4班の案に目を通して「なるほど同じだ」と思った。3班でもパソコンを使わない委員もいる。また、高齢化による視覚的な問題もありパソコンを扱うこと自体大変であり、年度が代わり新たに別の運営委員を自分のグループから送り出すことになる場合もパソコンが使えることが条件となると難しく引継ぎもうまくいかないと思われる。

昨年度からの5人の班で構成する体制は話し合えて良かった。一方、25人での運営委員会は多すぎてしんどい。いろんな話に流され、一体何を言ったらいいかわからない。さらにルールづくりはたたき台がないことからよく理解できず意見も出せなかった。コロナ禍になり、ボランティア活動の新しいことを決めるのはいいことだと思われるが、ルールづくりが具体的に決まると堅苦しくなりしんどい。

□ 4班 三島・佐々木(冒頭で説明)

配布資料「運営委員会のあり方について」

□ 5班 田中

4班の案はもっともである。自宅の環境次第で運営委員は大変で、事務局や機材の扱いやITに慣れた委員はいいが、不得手な委員には大きなギャップがある。しかし、事務局経験の有無はこの先のいろんなことを体験しなければならず、コロナ禍からZoomも活用しなければならないので、できない委員はどうすればいいのかを考えながらできそうな委員に寄り添い少しずつできるようになればいい。次回運営委員会の事務局は当班なので差し当たり次回運営委員会までに資料を出すことは大変であるが当班では25部ずつ印刷して事前準備することを考えた。連絡会を練習の機会として開催したいと考えている。

<まとめ>

次期運営委員会には再び全く何もわからない委員が入られることを想定しなければならない。そのためにも各班から出された様々な意見について考えてもらいたい。

各班から運営委員会のあり方について意見をいただいたが、時間不足の中でこの場で即座に協議を踏まえて意見をとりまとめるにはこじつけのようになり、乱暴でもある。この議題は、運営委員会の基本となる重要な内容であり、審議する類のものでもなく丁寧に協議をする必要がある内容であることから、今回はそれぞれの班でまとめられた意見を聞き置くところで止めた。

一方、本日の結論が出ていない、運営委員会の何が決まって何が変わるのか、との指摘とそれが不可能なら考え方として具体的なアイデアがあり明日からでも改善できることがあれば改善すべきである、5班からの意見を基に改善策を決定してはどうか、との意見が出された。議題の本筋とは異なる具体の方策に関する提案ではあるが、5班の意見にあった、**運営委員会に必要な印刷物の扱いについて、以下の二者択一で挙手により諮った結果、①が採択された。**

①担当班が1部プリントした原稿を当日各自こむ1会のプリンターでコピーする … 14名

②担当班が25人分すべてプリントする … 6名

- 2) 企画検討会について 大掃除、施設改善、会則見直し、広報、交流、防災減災時間の都合により次回運営会議の議題に先送りとなった。

3. 提 案

- 1) 「運営委員会サポーター」について(東)

「運営委員会サポーター」とは、3か月前に提案した、有志がボランティアで運営委員を支えることで運営委員会が円滑に運ぶよう支援する仕組みであるが、運営委員を超えるようなことはない作業部隊のようなものである。具体的な作業内容は、例えば、改善提案の一環として出された議事録やレジユメのひな形などの作成や資料印刷等の作業などがある。

既に呼びかけを実施しているが、有志の集まりなのでいつでも不満があれば運営委員会に意見を出してもらいたい。

(補足意見)サポーターについては同じ人が継続するのではないこと、運営に携わらないことなどを確認した。運営委員の負担を軽減する有志ボランティアとのことである。(関戸)

- 2) こむ1会員向けの説明会「こむ1会についての認識を深める」について(東)

財団の説明会再開の有無については話の内容を覚えているので可能である。財団と確認し合いながら進めていけばいいと思われる。再開してほしいとの声もあるので、財団が再開されても利用者の有志で実施してもいい。

- 3) 8月新旧運営委員会について(村中)

これまで、新旧で運営委員会を開催したことがない。8月スタートのはずが実質的には11月スタートになっている。それを改善するためには7月に運営委員を決めるのでは遅すぎるという考えから6月には運営委員を決定し、8月に新旧の運営委員会を開催し、9月から実質的に運営委員会が機能するようなスタートを切りたい。新しい流れになることから、一緒に検討に関わってもらえる委員を募りたい。
⇒夜間のZoom、あるいは対面で参加可能な委員が関わりたたき案を作成してはどうか。

【次回運営委員会に先送りの議案】

- 「こむ1会登録団体が活動スペースを利用する際の5つのマナー(案)」に関する承認
- 「企画検討会について」の各会からの報告
- 「運営委員会のあり方について」の協議

以 上
議事録作成 4 班